

2024年4月26日



# 2024年3月期 決算説明資料

東京製鐵株式会社  
(東証プライム：5423)

1

2024年3月期 決算報告

2

2025年3月期 業績予想

3

参考情報

4

株主還元について

1

# 2024年3月期 決算報告

# 2024年3月期 実績総括

- ・製品出荷単価の低下や物流コストの上昇などが顕著となった一方、脱炭素、資源循環の潮流を受けた電炉製品への需要の高まりを受け、製品出荷数量が前期比で3.7%増加。
- ・売上高が過去最高となったことに加え、昨年まで上昇基調が続いていたエネルギー・諸資材の購入価格も一服したことから、営業利益は前期とほぼ同等の水準を確保した。

(億円)	2023年3月期 実績			2024年3月期 実績					
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期計画 1/19 公表	通期計画からの 増減額・増減率	
売上高	1,784	1,828	3,612	1,891	1,780	3,672	3,670	2	100.1%
営業利益	206	174	380	215	165	380	375	5	101.5%
経常利益	214	177	392	224	172	397	385	12	103.1%
当期純利益	186	121	308	156	123	279	265	14	105.5%

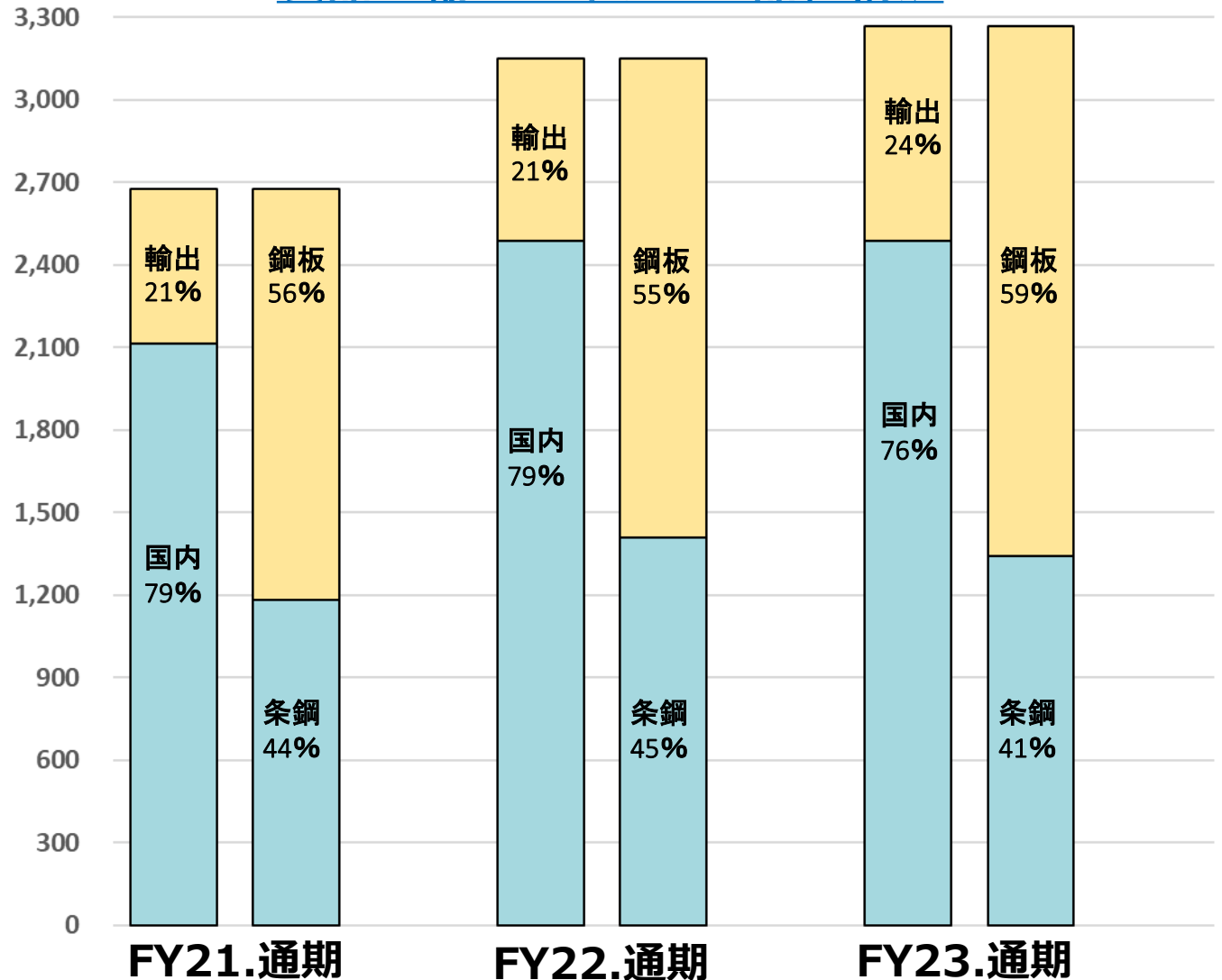
計画比で  
赤字は増  
青字は減

# 製品出荷量の推移

製品	FY21.通期	FY22.通期	FY23.通期
国内 (千トン)	2,111	2,486	2,488
販売単価 (千円)	98.8	116.9	113.8
輸出 (千トン)	562	662	776
販売単価 (千円)	98.1	95.8	94.9
合計 (千トン)	2,673	3,148	3,265
販売単価 (千円)	98.7	112.5	109.3
粗鋼生産量 (千トン)	3,033	3,407	3,608
鋼材生産高 (千トン)	2,765	3,129	3,337

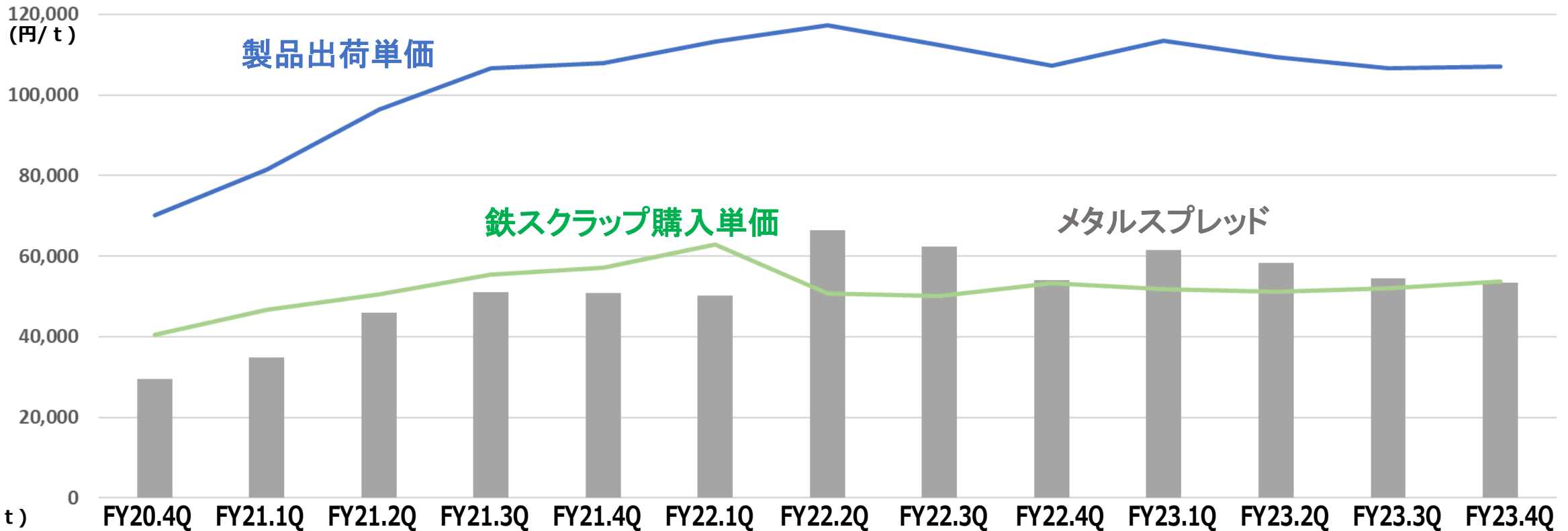
(千トン)

## 製品の輸出比率および品種構成



# 製品出荷単価・鉄スクラップ購入単価・メタルスプレッドの推移

当第4四半期では、前期比で製品出荷単価が上昇したものの、鉄スクラップ購入単価の値上がりを受けて、メタルスプレッドは約1,000円/tの悪化となった。

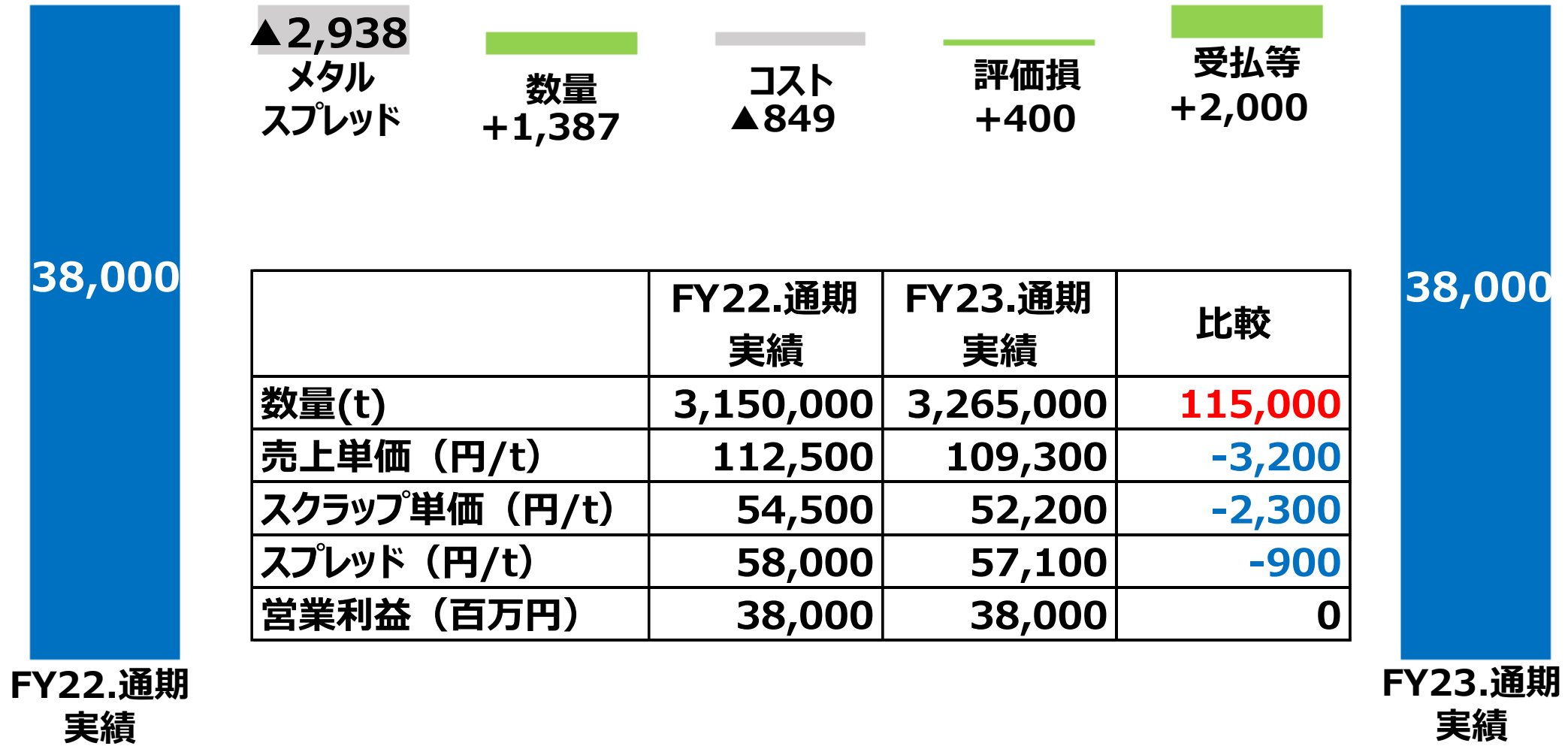


※鉄スクラップ購入単価とは、該当の四半期において使用した鉄スクラップの平均購入単価を指します。

# 営業利益増減要因

2023年3月期(実績)→2024年3月期(実績)

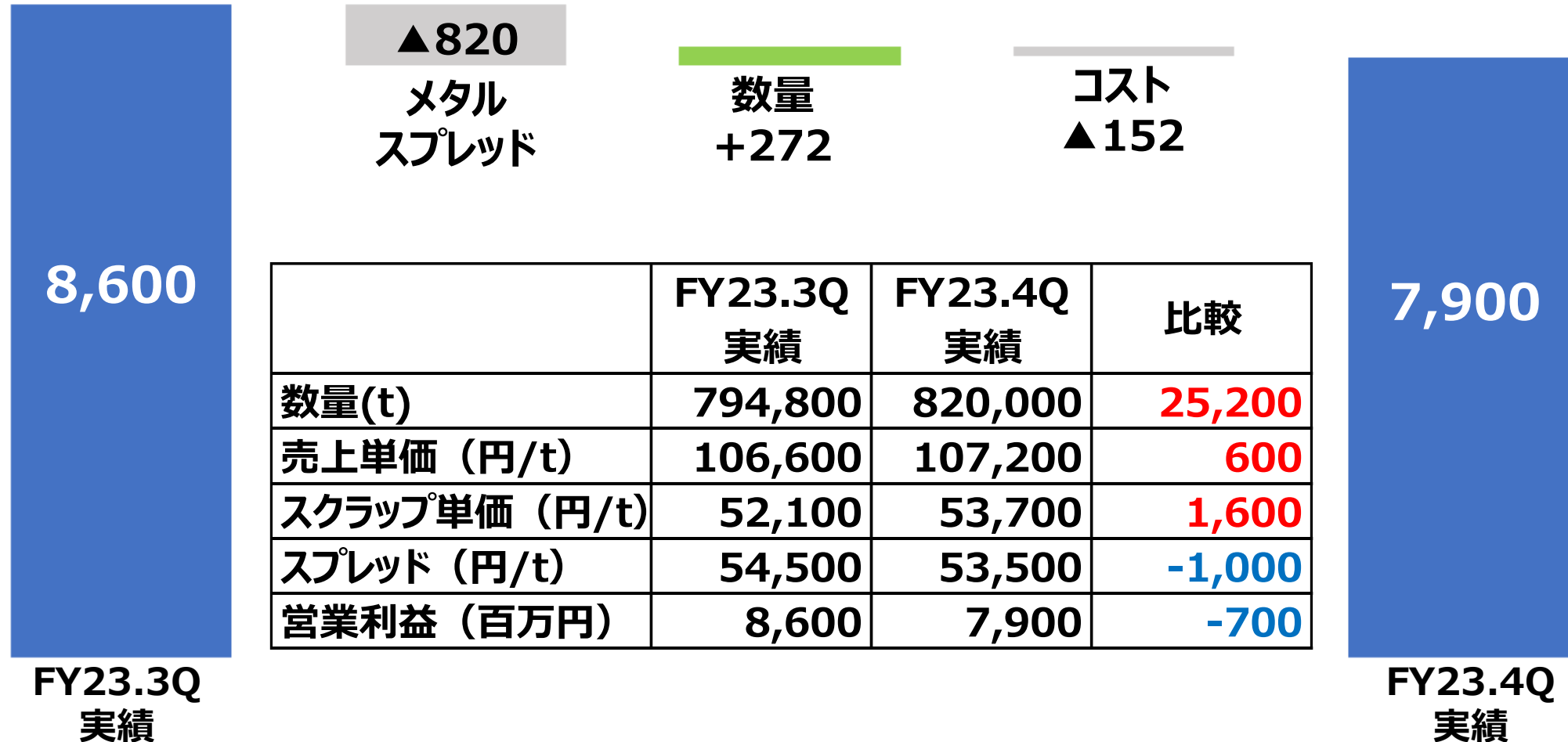
(百万円) ※営業利益は数値を丸めています。



# 営業利益増減要因

2024年3月期3Q(実績)→2024年3月期4Q(実績)

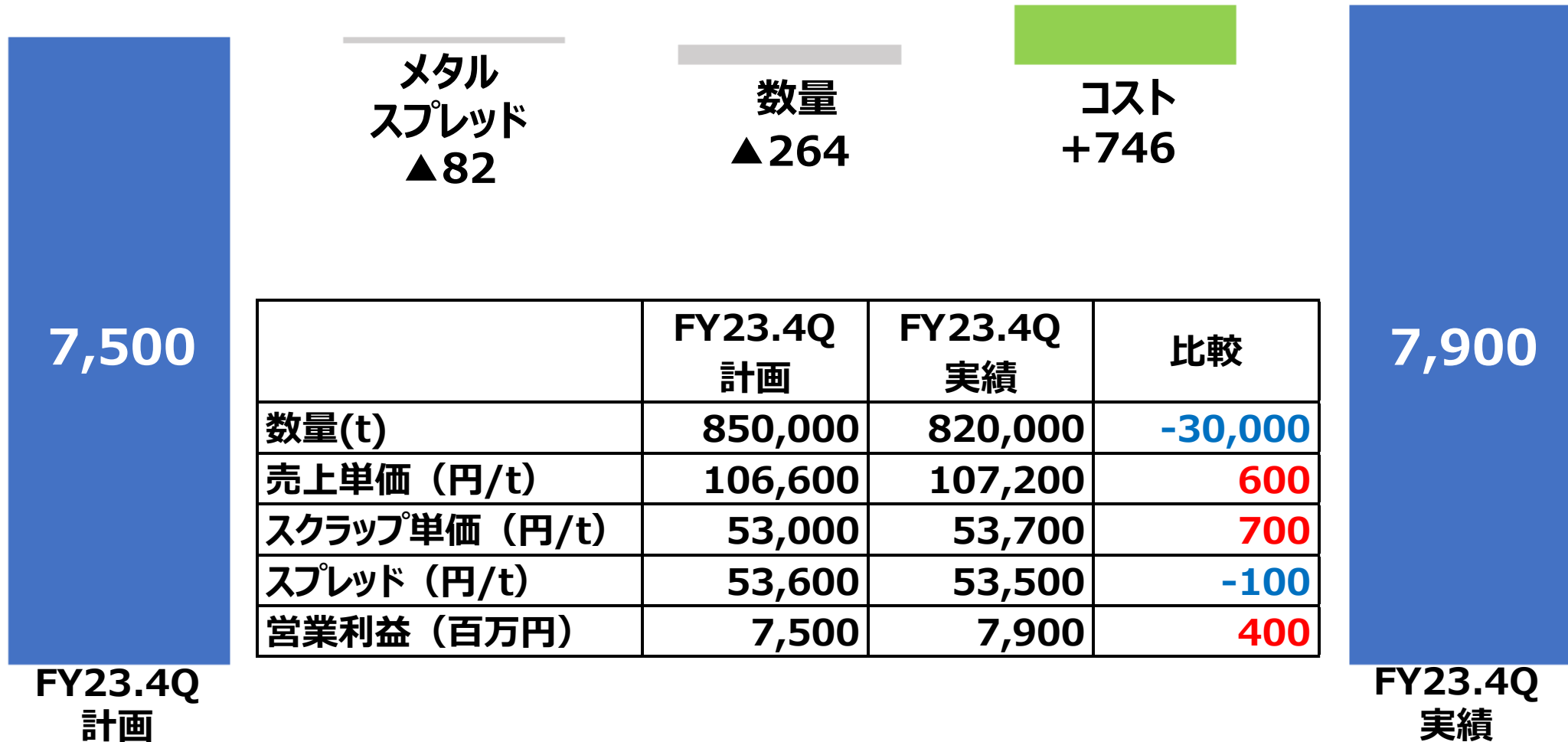
(百万円) ※営業利益は数値を丸めています。





# 営業利益増減要因

2024年3月期4Q(計画)→2024年3月期4Q(実績)  
(百万円) ※営業利益は数値を丸めています。



2

# 2025年3月期 業績予想

# 2025年3月期 業績予想

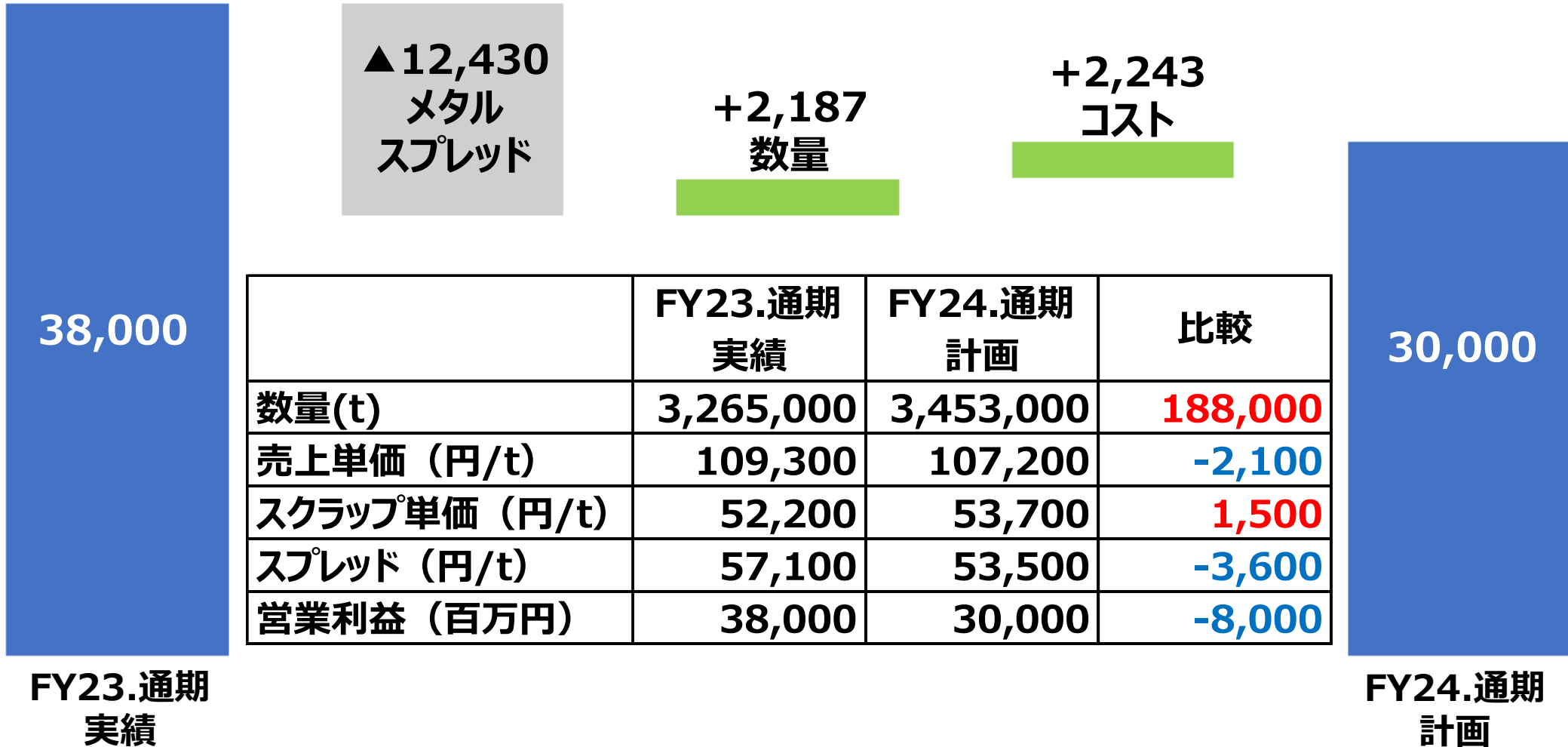
今後の見通しは、中国が鋼材輸出の姿勢を強めることで、海外市況への影響が懸念される一方、国内鋼材市場においては製造業の需要回復を受けて鋼材需要は堅調に推移することが期待される。

(億円)	2024年3月期実績			2025年3月期予想			前期からの増減値		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	1,891	1,780	3,672	1,820	1,880	3,700	-70	100	30
営業利益	215	165	380	150	150	300	-65	-15	-80
経常利益	224	172	397	155	155	310	-70	-20	-90
当期純利益	156	123	279	105	105	210	-50	-20	-70

計画比で  
赤字は増  
青字は減

# 営業利益増減要因

2024年3月期通期実績→2025年3月期通期計画  
(百万円)





# 参考情報

# CDPで5年連続気候変動Aリストに選定



●2024年2月、英国の国際的NGO団体・CDPより、最高評価である気候変動Aリストに選定

世界の鉄鋼セクターで唯一となる5年連続気候変動Aリスト  
わが国の鉄鋼メーカーでも唯一の気候変動Aリスト



4

# 株主還元について

# 株主還元について

・2024年3月期の期末配当は1株につき25円。実施済みの中間配当とあわせ、年間配当金は50円。自己株式の取得を含む総還元性向は約33%となった。

・4/26(金)取締役会決議、2024年5月に自己株式の消却および追加取得を実施予定。

	FY16 実績	FY17実績	FY18実績	FY19実績	FY20実績	FY21実績	FY22実績	FY23予定
中間配当	5.0円	5.0円	6.0円	7.0円	8.0円	10.0円	20.0円	25.0円
期末配当	5.0円	5.0円	7.0円	8.0円	8.0円	15.0円	20.0円	25.0円
年間配当	10.0円	10.0円	13.0円	15.0円	16.0円	25.0円	40.0円	50.0円
自己株式買取総額	1,799百万円	1,985百万円	3,877百万円	11,778百万円	2,000百万円	5,710百万円	3,499百万円	3,756百万円
配当性向	12%	12%	11%	14%	33%	9%	14%	20%
総還元性向	29%	30%	36%	99%	66%	27%	26%	33%

## ● 自己株式の消却

- ① 消却する株式の種類: 当社普通株式
- ② 消却する株式の数: 45,000,000株
- ③ 消却予定日: 2024年5月10日

※消却後の発行済株式総数: 110,064,249株  
※消却後の自己株式数: 859,311株

## ● 自己株式の取得

- ① 取得する株式の種類: 当社普通株式
- ② 取得する株式の数: 610,000株(上限)
- ③ 株式取得価額の総額: 10億円(上限)
- ④ 取得する期間: 2024年5月13日から  
2024年12月31日まで
- ⑤ 取得方法: 市場買付



# 今後の株主還元方針

当社の属する普通鋼電炉業界の大きな特色は、装置産業かつ市況産業であることであります。業界のなかで最新の生産技術を保持し、高い生産性と競争力を維持しつつ成長を続けるためには、適切なタイミングにおいて、設備の更新を慎重かつ大胆に実行していく必要があります。市況産業故に業績が景気変動に大きく左右されやすいなかで、投資を自己の判断によりの確に行っていく上で内部留保は極めて重要であり、株主の利益を長期的に確保することに繋がるものと考えております。

上記の考え方に基づき、当社は将来に資する設備投資を推進し、生産性と競争力を一層向上させることで、高い利益水準を達成しつつ、これをもって、配当や自己株式取得による株主還元を実施してまいりました。今般、この方針をより明確にすることとし、当社の今後の利益配分につきましては、原則として、総還元性向を25%~30%とすることを目指してまいります。

今後も株主還元方針に基づき、  
安定的な配当の実施、機動的な自己株式の取得を実施してまいります。



CARBON MINUS × UPCYCLING  
EcoVision2050

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではなく、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含みます。したがって、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。